

2006年9月26日

世界初^{(*)1}e-ALIS方式^{(*)2}60V型フルHD「1080ALISパネル」を搭載、
「動画解像度」に優れた地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビなど
「Wooo」10000シリーズ3機種を発売



W60P-XR10000



W50P-HR10000

株式会社日立製作所ユビキタスプラットフォームグループ(グループ長&CEO 江幡誠/以下、日立)は、世界で初めて^{(*)1}e-ALIS方式^{(*)2}を採用した新開発60V型フルHD「1080ALISパネル」(水平1,920×垂直1,080画素)搭載の60V型地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビと、業界最高クラス^{(*)1}の高輝度1,300cd/m²を実現した高精細50V型HD「1080ALISパネル」(水平1,280×垂直1,080画素)搭載の50V型地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビなど、「Wooo」10000シリーズ3機種を11月中旬から順次発売します。

本シリーズは、自己発光デバイスであるプラズマの特性として、映像の美しさを左右する「動画解像度」に優れ、残像や動画ぼやけのないクリアな映像を実現しており、デジタルハイビジョン放送を高画質かつ大画面で楽しめる充実したラインアップです。さらに、デジタルハイビジョン放送をより高画質に表現するための画像認識を行う画像処理エンジン「Picture Master HD」を搭載し、新開発の60V型フルHD「1080ALISパネル」、50V型HD「1080ALISパネル」に合わせて最適化を図り、動きの速いスポーツや豊かな画像表現力が求められる映画など、映像に応じたコントラストと豊かな色調を表現します。

外観は、先進のデザインコンセプト「Cutting edge Design(カッティング・エッジ・デザイン)」をベースに、モニター、スタンド、スピーカーの薄さを強調するデザインを側面に取り入れています。さらに、50V型には、従来の42V型^{(*)3}と同等の横幅のコンパクトデザインを採用することで、限られた設置場所にワンサイズ上の大型テレビを設置することができます。

デジタルハイビジョンHDDレコーダー内蔵タイプの「W60P-XR10000」と「W50P-HR10000」は、リモコンの録画ボタンを押すだけで簡単かつ素早く番組を録画することができます。250GBのHDDと、HDトランスコード/トランスレート技術である「XCodeHD^{(*)4}」や、日立独自のHDD制御技術「HPSPM^{(*)5}」を採用することにより、デジタルハイビジョン放送500GB^{(*)6}相当分(約50時間^{(*)7})の長時間録画を実現しています。また、ダブルデジタルチューナーを搭載し、デジタルハイビジョン放送を見ながら別の番組を録画することができます。

なお、50V型のHD「1080ALISパネル」は、本年2006年10月に量産開始を予定している富士通日立プラズマディスプレイ株式会社(代表取締役社長:井本義之/以下、FHP)の新工場(三番館)で最初に製造されるパネルです。

型式、価格および発売日

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

方式	画面サイズ	型式	発売日	本体希望小売価格	当初月産台数
プラズマ	60V型	W60P-XR10000	12月下旬予定	オープン価格	500台/月
	50V型	W50P-HR10000	11月中旬	オープン価格	5,000台/月
		W50P-H10000	11月下旬	オープン価格	

開発背景と意図

2006年度の国内需要は、プラズマテレビで約80万台、26V型以上の液晶テレビで約350万台が見込まれ(当社推定)、さらに今後は画面サイズの大型化が進むと予想されています。このような中、日立は新たに60V型と50V型のプラズマテレビを開発し、50V型以上の大画面ニーズに対応するラインアップの拡充を図りました。50V型は従来の42V型^{(*)3}と同等の横幅を実現し、リビングルームなどで楽しむテレビ画面のサイズアップが可能となります。

また、画面サイズの大型化にともない、画素の高精細化も同時に求められており、本シリーズでは60V型で水平1,920×垂直1,080画素のフルHD「1080ALISパネル」を、50V型で水平1,280×垂直1,080画素のHD「1080ALISパネル」を採用しました。

本年12月には、すべての都道府県庁所在地で地上デジタル放送の開始が予定されており、日立はプラズマテレビにおいて、60V型・50V型・42V型・37V型のすべての画面サイズでデジタルハイビジョン放送と同じ垂直1,080画素を実現し、豊富なラインアップでお客様に大画面で高精細な映像を提供していきます。

 は3つの「Wo～」を意味しています。

(Wonder - 驚きがある。World standard - 世界の新しい基準である。Worthwhile - 高い価値がある。)

*1: 2006年9月現在、日立調べ

*2: e-ALIS方式とは、「extended-ALIS」方式の略

*3: W42-P7000(外形寸法 幅: 123.0cm)との比較

*4: カナダ(トロント)に本社を置くViXS Systems Inc.のHDトランスコード/トランスレートテクノロジー

*5: HPSM(High Performance Streaming Manager)日立が開発した映像ストリームを効率的に扱うミドルウェア

*6: TSE1/TSE2モードでのデジタル放送録画時間をHDD容量に換算した場合

*7: TSE1モードでデジタル放送を録画時

お客様からの問合せ先およびカタログ請求先

お客様相談センター 電話: 0120-3121-11(フリーコール)

時間: 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)【年末年始をのぞく】

製品紹介ホームページ「日立Woooワールドホームページ」 URL: <http://av.hitachi.co.jp/>

以上

< 新製品の主な特徴 >

高画質技術

1. 世界で初めて^{(*)1}e-ALIS 方式^{(*)2}を採用した水平 1,920 × 垂直 1,080 画素の 60V 型フル HD 「1080ALIS パネル」(「W60P-XR10000」)

「W60P-XR10000」は、世界で初めて^{(*)1}e-ALIS 方式^{(*)2}を採用した水平 1,920 × 垂直 1,080 画素の新開発 60V 型フル HD 「1080ALIS パネル」を搭載しています。60V 型の大画面でありながら、パネル輝度 1,000cd/m²(パネル単体・ピーク輝度)、コントラスト比 5,000 : 1(パネル単体・暗室)を実現し、明るくメリハリがあり、細部まで美しく迫力ある映像を楽しめます。さらに、新開発の高画質パネル制御 LSI を搭載することにより、動画ノイズの大幅な低減、階調性能の向上を図り、スポーツなどの動きの激しい映像や映画の暗い映像シーンも滑らかに美しく再現します。

2. 業界最高クラス^{(*)1}輝度 1,300cd/m²を実現した水平 1,280 × 垂直 1,080 画素の 50V 型 HD 「1080ALIS パネル」(「W50P-HR10000」「W50P-H10000」)

「W50P-HR10000」と「W50P-H10000」には、ALIS 方式の特長である緻密な垂直方向無変換の 1,080 画素に加え、水平画素数を従来の 1,024 画素から 1,280 画素へと大幅に増やすことにより、さらなる高精細化を図った新開発の 50V 型 HD 「1080ALIS パネル」を搭載しています。開口率の高い ALIS パネルの特長に加え、放電ガス組成の変更・駆動波形の改良などの新技術を採用し、50V 型では業界最高クラス^{(*)1}の高輝度 1,300cd/m²(パネル単体、ピーク輝度)と、高コントラスト 10,000:1(パネル単体・暗室)でメリハリのある鮮明な映像を再現します。

3. 画像処理エンジン「Picture Master HD」を搭載

デジタルハイビジョン放送信号のデコーダーLSI を統合し、画像処理能力を飛躍的に向上させた画像処理エンジン「Picture Master HD」を採用しています。さらに今回は、60V 型フル HD 「1080ALIS パネル」および 50V 型 HD 「1080ALIS パネル」に対応し、画像のノイズ感を強調することなく、テロップなどの白文字のクッキリ感や人物の瞳のきらめきなど、きめの細かい質感や奥行きを再現する機能を加えています。

- (1)「リアルサンプリング」: ハイビジョン放送の水平1,920 × 垂直1,080の画素の全情報をサンプリングし、高度な画像認識技術により、繊細で豊かな色を再現します。
- (2)「3次元デジタルカラーマネージメント」: 複数の指定色を他の色に影響を与えることなく同時にコントロールし、それぞれの色合い・色の濃さ・明るさを調整し、美しく豊かに表現します。
- (3)「ダイナミックコントラスト」: ヒストグラム分析を行い、シーンに応じた最適なコントラストと豊かな階調で表現します。
- (4)「動きベクトル I-P 変換」: DVD などの標準画質信号の映像処理に効果的な高画質プログレッシブ処理により、滑らかで美しい動画を映し出します。

*1 : 2006 年 9 月現在、日立調べ

*2 : e-ALIS 方式とは、「extended-ALIS」方式の略

先進のデザインコンセプトを採用し、コンパクトデザインを実現

1. 先進のデザインコンセプト「Cutting edge Design(カッティング・エッジ・デザイン)」

モニター、スタンド、スピーカーの側面を大胆に斜めにカットし、薄型テレビの薄さを強調する先進のデザインコンセプト「Cutting edge Design」を採用しています。プラズマテレビの薄さやフラット感が際立つ、「技術の先進性をかたちに」というコンセプトのもとにデザインされており、リビングルームのインテリアにも自然に調和します。10月から発売を予定しているデジタルハイビジョン HDD/DVD レコーダー「Wooo」シリーズ(「DV-DH1000S」ほか)との組み合わせにも最適のデザインです。

2. 従来の 42V 型(*1)と同等の横幅を実現するコンパクトデザイン(50V 型のみ)

50V 型の「W50P-HR10000」「W50P-H10000」は、外形寸法の横幅が 124.0cm と、従来の 42V 型(*1)と同等の横幅でより大型の画面サイズのテレビを設置することができるコンパクトデザインを実現しています。テレビの設置場所が限られるリビングルームなどでも、ハイビジョン放送の迫力を存分に楽しみ、ワンサイズ上の大画面テレビを設置することが可能です。

*1 : W42-P7000(外形寸法 幅 : 123.0cm)との比較

余計な接続不要で、ボタンひとつですぐに録画可能(「W60P-XR10000」「W50P-HR10000」)

1. ハイビジョン画質でたっぷり録れる(500GB 相当分)HDD レコーダー内蔵

日立グローバルストレージテクノロジーズ社製(*1)の 250 GB の HDD を搭載し、さらに、HD トランスコード/トランスレート技術「XCodeHD」(*2)を採用することにより、デジタルハイビジョン画質で約 50 時間(*3)録画可能とし、HDD 容量に換算して 500GB(*4)相当分の長時間録画を実現しました。なお、LP モード(VHS 画質)での録画であれば約 181 時間(120 分 VHS テープ 90 本分)、長時間録画の EP モード(VHS3 倍モード画質)であれば最大約 286 時間の録画ができます(*5)。

2. HDD レコーダー内蔵で、簡単で便利に使える

HDD レコーダーを内蔵しているため、レコーダーとのケーブル接続の手間や外部入力への切り替え、リモコンの使い分けなど、面倒な操作は不要です。また、デジタル放送の EPG(電子番組表)を画面に表示してボタン操作することで録画予約したり、リモコンの「録画」ボタンひとつですぐに録画できるなど、操作は簡単です。

3. レコーダーとの接続も簡単な「Wooo で Link」を採用

HDD レコーダーに録画したハイビジョン番組を i.LINK 経由で日立のデジタルハイビジョン HDD/DVD レコーダー「Wooo」(*6)の HDD に移動(ムーブ)する「Wooo で Link」機能を採用し、テレビで録画した番組を HDD/DVD レコーダーを使って DVD に保存することができます。

4. ストリーム高速処理ミドルウェア「HPSM(*7)」を搭載

HDD レコーダーへのデジタルハイビジョン番組の録画や再生に、日立独自の HDD 制御技術

「HPSM^(*7)」(高性能ストリーミングマネージャー)を採用しました。デジタルハイビジョン映像の録画同時再生時のストリーム処理や、データ転送レートの管理などを効率よく制御し、HDDレコーダー操作時の応答性能を改善しています。

*1：日立グローバルストレージテクノロジーズ(本社機能 米国カリフォルニア州サンノゼ市、取締役会長&CEO 中西 宏明)

*2：カナダ(トロント)に本社を置く ViXS Systems Inc.のHDトランスコード/トランスレートテクノロジー

*3：TSE1モードでデジタル放送を録画時

*4：TSE1/TSE2モードでのデジタル放送録画時間をHDD容量に換算した場合

*5：各録画時間は目安であり、番組により録画時間は短くなる場合もあります。

*6：DV-DH1000S、DV-DH500S、DV-DH1000D、DV-DH500Dで対応

*7：HPSM(High Performance Streaming Manager)日立が開発した映像ストリームを効率的に扱うモデルウェア

ダブルデジタルチューナー搭載

「W60P-XR10000」「W50P-HR10000」とも、地上・BS・110度CSデジタルチューナーを2系統(地上アナログチューナーも2系統)標準搭載しています。例えば、見たい番組が重なったときに裏番組をデジタルハイビジョンで録画をしながら別の番組を視聴する2画面機能を使って2つのデジタルハイビジョン番組を同時に視聴するなどの使い方が可能です。

高音質化技術

1. 高音質を実現するスピーカーシステム

音声のパワーアンプ部に、60V型は出力13.5W + 13.5W、50V型は出力10W+10Wのデジタルアンプを採用し、音の濁りや歪みの少ないデジタルサウンドを再生します。

(1)60V型：本体左右に配置するスピーカーは着脱可能なセパレートスピーカーシステムを採用し、専用の別売スピーカースタンドにより自立させ、本体から離して設置することも可能です。

(2)50V型：設置時のスペース性を考慮して、本体下部にスピーカーを配置したアンダースピーカーシステムを採用しています。スピーカーから出る音を、画面中央に位置させた仮想スピーカーから出すことにより、音の発生源と画面位置とを一致させる効果を持つ「SRS FOCUS^(*1)」を新たに搭載しました。

2. デジタル放送の番組情報に連動し、音場を自動的に切り換える「自動音声モード^(*2)」

デジタル放送の番組情報として送られてくるジャンル情報(スポーツ・音楽・映画など)に連動して、スピーカーから再生する周波数特性やサラウンド効果(WOW^(*1)(立体音響効果 + 低音再生)・BBE^(*1)(明瞭度改善))を調整し、番組ジャンルにふさわしい音場を演出し、60V型・50V型の大画面の迫力と合わせ、番組に適した音声で臨場感をさらに盛り上げます^(*2)。

*1：SRS FOCUSおよびWOWはSRS Labs, Incの商標。BBEはBBE Sound, Incの商標です。

*2：メニュー画面の各種設定、音声モードで「オート」選択時に有効

省エネ&エコロジー対応

1. 環境負荷の低減と省エネ設計

(1)新開発の50V型プラズマパネルは、使用するガラスの厚さを従来の2.8mmから1.8mmへと大幅に抑え、資源の有効活用、製品の軽量化など環境負荷の低減に努めています。

(2) プラズマパネルは約 60,000 時間^{(*)1}の長寿命化設計です。

(3) テレビの切り忘れなどに対応し、以下の省エネ機能を搭載しています。

- ・ 放送終了で無信号状態が 10 分継続すると電源をオフする「無信号電源オフ」
- ・ リモコン等の操作が約 2 時間無い場合に電源をオフする「無操作電源オフ」
- ・ ビデオ入力の無信号状態でパネル部分への電力供給をカットする「ビデオパワーセーブ」

2. JIS 規格「J-Moss^{(*)2}」のグリーンマークに対応

今回の製品は、電気・電子機器に含まれる特定化学物質の含有表示について新たに日本工業規格(JIS)に制定された「J-Moss^{(*)2}」に対応し、規制対象物質である「鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB(ポリブロモビフェニル)・PBDE(ポリブロモジフェニルエーテル)」の 6 物質の非含有^{(*)3}をあらわす「グリーンマーク」表示製品であり、環境負荷の低減を図っています。

*1: パネル輝度 40%到達までの目安時間

*2: J-Moss: 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法

(The marking for presence of the specific chemical substances for electrical and electronic equipment)

*3: JIS C 0950 に規定する除外項目をのぞく

使いやすさの向上

1. リモコン操作で画面の向きを変えられる「リモートスイーベル」(50V 型のみ)

リビングでの視聴やダイニングでの視聴など見る場所に合わせて、リモコンでテレビの向きが左右各 30 度変えられる「リモートスイーベル」機能は、日立の薄型テレビ購入者の約 6 割が使用^{(*)1}しており、高く評価されています。

2. 大型選局ボタンとポップアップ GUI で使いやすさに配慮

基本操作部分と機能を使いこなす部分に分けてリモコンボタンをブロック配置しています。よく使うチャンネル選局ボタンは、大型サイズで黒をベースに見やすい白色の文字印刷を採用し、上下のボタン間隔は 4mm 確保するなど、ボタンの誤操作を防止する配置となっています。また、デジタル放送の EPG(電子番組表)や操作メニュー表示の GUI は、選んだ項目や内容が周辺より少し拡大され浮き出してくる「ポップアップ表示」を引き続き採用することで、画面操作時の視認性を高めるなど使いやすさに配慮しています。

3. 2 系統の HDMI 端子を装備

本シリーズでは HDMI 端子を 2 系統装備し、DVD プレーヤー・DVD レコーダー・PC など、将来の拡張性に配慮しています。

*1: 日立プラズマテレビ購入者調査結果から

主な仕様

型式	W60P-XR10000	W50P-HR10000	W50P-H10000	
表示サイズ (幅×高さ、対角)	133.6×75.2cm、153.0cm	110.6×62.6cm、127.0cm		
パネル・表示方式	フルHD 1080ALISパネル (e-ALIS方式)	HD 1080ALISパネル (ALIS方式)		
表示画素数(水平×垂直)	1,920×1,080	1,280×1,080		
画素ピッチ(水平×垂直)	0.70×0.70mm	0.86×0.58mm		
輝度(白ピーク、パネル単体)	1,000cd/m ²	1,300cd/m ²		
コントラスト(暗所、パネル単体)	5000:1	10000:1		
受信チャンネル	地上デジタル 000-999(CATVパススルー対応) BSデジタル 000-999 110度CSデジタル 000-999(右旋円偏波) 地上アナログ VHF:1-12ch UHF:13-62ch CATV:C13-C63			
デジタルダブルチューナー				
HDDレコーダー機能(HDD容量他)	(250GB、XCodeHD)	(250GB、XCodeHD)		
音声出力 (JEITA)	13.5W+13.5W	10W+10W		
スピーカー	サイドスピーカー(着脱式) (8cm×2、2.5cm)×2	アンダースピーカー (6×12cm)×2、フルレンジ		
サラウンド他	TruSurround 5.1 *			
	WOW *	SRS-3D *		
		TruBass *		
		FOCUS *		
BBE *				
入出力端子	HDMI入力端子	2	2	
	D4入力端子	2	2	
	S2ビデオ入力	3	3	
	ビデオ入力	4	4	
	モニター出力	1	1	
	サブウーハー出力	1	1	
	i.LINK(DV入力対応)	1	1	
	光デジタル音声出力	1	1	
	電話回線接続端子	1		1
	IRコントローラー	2		2
	ヘッドホン出力	1		1
LAN (10BASE-T/100BASE-TX)	1		1	
SD/MMCカードスロット	1		1	
アンテナ入力端子	VHF/UHF入力×1(アナログ・地上デジタル共通入力)		BS/CS-IF入力×1	
消費電力(待機時)	未定	474W(0.5W)	449W(0.5W)	
年間消費電力量 (JEITA基準「スタンダード」で測定)	未定	393kWh/年	361kWh/年	
本体外形寸法*1 (幅×高さ×奥行)	150.2×95.2×12.8cm *2 (取っ手部除く)	124.0×83.6×10.5cm (下部最大奥行12.5cm)	124.0×83.6×10.5cm (下部最大奥行12.5cm)	
本体質量	76kg *2	41.5kg *2	40.7kg *2	
リモートスイーベル				
スタンド	別売	別売		

*: TruSurround 5.1、WOW、SRS-3D、TruBass、FOCUSはSRS Labs, Incの商標です。BBEはBBE Sound, Incの商標です。

*1: 設置に際してはスタンド/ラック等が必要です。

*2: 本仕様は、予告無く変更することがあります。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
